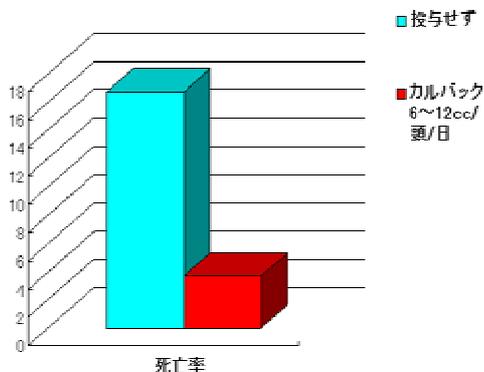


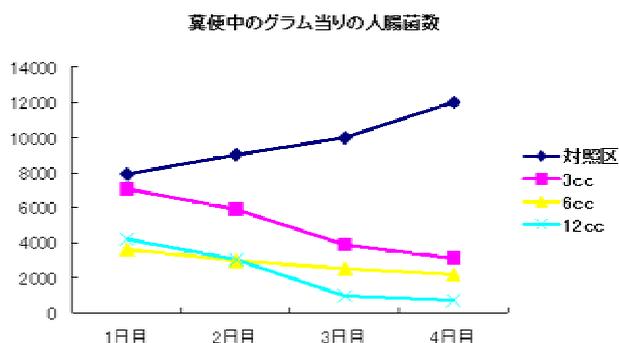
【子牛下痢のカルバック製品投与成績】（ニューハンプシャー大学）

ヘルシースタート投与による子牛の死亡率改善効果（54頭の子牛による28日間の試み）



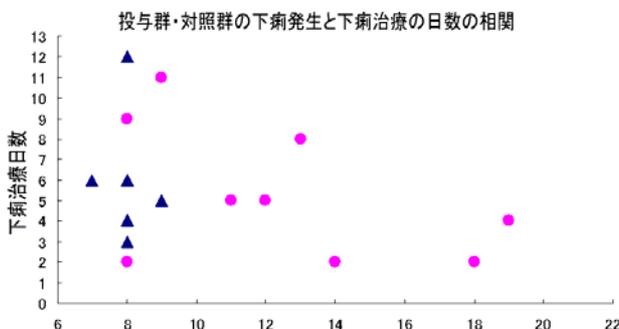
子牛は、初生時・哺育期に下痢が多発して、事故・死亡につながりやすい。これまでに種々の対策が行われているが、ヘルシースタートの投与実験では左図のように、顕著な好結果が得られた。無投与区率は16%にも達し、試験区は、僅か3.7%にとどまることが出来た。また野外一般や牛舎でも同一の傾向を示し、死亡率が改善された。

ヘルシースタート投与による大腸菌減少グラフ（4日目）



ヘルシースタート投与前は、各区とも大腸菌数は類似している。投与後の対照区は大腸菌が増え、ヘルシースタート区は全区減少し、投与量に応じて減少傾向が顕著である。

ヘルシースタートの新生子牛下痢予防効果（鹿児島県家畜疾病診断研究発表会）



- ・本牛舎3年間の病傷事故発生のうち、子牛下痢が平均64.8%を占め、特に発症と重症化が進んでいた。
- ・生後1日の子牛16頭中10頭に20ml1回投与
- ・下痢初発日齢は対照群8.6 ± 0.6日
- ・投与群は13.4 ± 4.6日と有意の遅れが見られる
- ・初発から治療までの治療日数は投与群が4.9 ± 3.2日で、対照群の6.0日 ± 2.9日より短縮された
- ・下痢初発日齢が早い子牛ほど治療日数が長い
- ・従来は治療に主に使用してきたが、20ml1回投与で予防効果が確認された